



目 次

[平成15年度理学研究科入学式挙行される](#)

[平成14年度理学研究科公開シンポジウム開催される](#)

[第1回理学研究科国際シンポジウム開催される](#)

[「物理学の発展動向に関する」国際シンポジウムを開催](#)

[体験学習「ポストゲノム科学 - 遺伝子解析からたんぱく質構造決定まで - 」が実施される](#)

[北海道大学大学院理学研究科業務功労者表彰を実施](#)

[外国の研究機関との共同研究](#)

[海外からの来訪者](#)

[学会賞等の受賞](#)

[学位授与](#)

[新任教官紹介](#)

[訃報](#)

[人事異動](#)

[行事予定](#)

平成15年度理学研究科入学式挙行される

本研究科の入学式が、4月4日（金）午前10時から5号館低層棟大講義室において、挙行されました。

今年度も、長田研究科長の挨拶、評議員、各専攻長等の紹介の後、特別講演、北大合唱団による合唱が行われました。

特別講演の講師は、日本大学総合科学研究所教授 小野田 武氏で、「21世紀の科学技術と研究者に託するもの - 若い科学者に望むこと - 」と題し、科学者として スタート台にたった、新入学生に感銘の深いものであります。

なお、本年度の修士（博士前期）課程および博士後期課程入学者は次のとおりです。

専攻	課程	
	修士（博士前期）課程	博士後期課程
数 学 専 攻	40名	8名
物理学専攻	39名	8名
化学専攻	59名	19名
生物科学専攻	57名	21名
地球惑星科学専攻	34名	10名

* 講演で使用したスライド(Power-Point)は、理学研究科HPに掲載しております。



入学式で挨拶する長田研究科長、評議員並びに専攻長・専攻委員

平成14年度理学研究科公開シンポジウム開催される

理学研究科低層棟大講義室において、「サイエンスビジョン - 最新研究から探る未来潮流」というテーマで本研究科主催公開シンポジウムが平成15年1月10日（金）に開催されました。平成14年度理学研究科国内シンポジウムの採択事業（広報22号参照）として開催された本シンポジウムは、理学研究科各専攻の若手教官（松本 圭司（数学専攻）、根本 幸児（物理学専攻）、信定 克幸（化学専攻）、沢田 健（地球惑星科学専攻）、出村 誠（生物学専攻））が企画・実施に当たりました。

当日は、北海道において世界的研究の未来潮流をつくりだそうとしている若手研究者として本研究科の「理学未来潮流 Grant」助成者4名を講師として招き、生命科学とタンパク質研究の新展開、古代堆積物に存在する巨大分子からの古生物・古地球環境の復元、知の爆発時代の自然科学：課題と挑戦、有限少数多体系が創る新しい世界、というテーマについて理学研究の面白さ、社会的意義、その将来像など専門を軸に紹介していただきました。

研究者独自の発想を紹介するだけでなく、最新のノーベル賞の話題を取り入れたり、また研究現場をブロードバンドでインターネット中継することで、迫力ある映像を観ながら講演が進められました（理学研究科ホームページにて写真公開中(<http://www.sci.hokudai.ac.jp/sympo.htm>)）。

参加者は学内だけでなく学外（一般、高校生）からもあり、合計約110名でした。このような公開シンポジウム等の機会をとおして、今後本研究科の開かれた活動がより充実していくことを期待します。

開催に当たり、御協力いただいた皆様にこの紙面をお借りして感謝申し上げます。



理学研究科長の挨拶



ブロードバンドによるライブ中継講演



会場からの熱心な質問

第1 回理学研究科国際シンポジウム開催される

第1 回理学研究科国際シンポジウム

The 1st International HU-GSS Symposium

日時：平成15年 3月17日(月)～3月20日
(木)

場所：北海道大学

趣旨にかえて

大学に対する批判の一つに「社会から見て大学が何をしているのか、何をしようとしているのか見えない」がある。「基礎科学」を担い「知の文化」の創造を標榜する理学研究科こそこの批判に謙虚に耳を傾ける必要がある。

今回新しく企画した「第1 回理学研究科国際シンポジウム」は勿論こうした批判に応えたいという側面を持っているものの、本当の狙いは理学研究科自身の研究教育の在り方を問い直す、即ち分野や国の境界を越えて学术交流をし、新たな学問領域創造の契機を作ることにある。経費は科研費等の間接経費をあてがった。測定装置や解析機器の購入などいわばハードマネーに使用することを考えれば、このシンポジウムの意義を深めるのは理学研究科構成員である。この点、本シンポジウムに賛同されて色々準備された5分野のコンビナーを初め、講演者や準備に奔走してくださった方々は数百人に達しよう。3月18日には総長も会の終了まで参加され、90名にも達する諸外国からの参加者が大変和やかな懇親会を持つこともできた。このように、企画、準備、運営に絞った智こそ理学研究科がこれから何代にも渡って蓄積し、発展させていかねばならない文化なのである。今回、御協力下さったすべての方々に研究科長として深い敬意と御礼を申し上げたい。

平成15年3月
理学研究科長 長田義仁

各シンポジウムの概要

1) 変分問題と幾何学的測度論 Variational problems and geometric measure theory

(コンビナー：儀我美一教授、利根川吉廣助教授、平成15年3月17日～18日、理学部3号館 3-508室)

今回のシンポジウムでは、講演者はそれぞれ異なる問題を扱っているものの変分問題に対して幾何的かつ解析的手法を用いているという点でまとまりのよいものとなった。海外招待講演者であるWhite教授は平均曲率流の特異点分類と極小曲面の埋め込みに関して、またMueller教授は弾性体理論における基本不等式の確立とその応用及び薄膜磁性体の数理モデルに関する最新結果について講演した。他にはLandau-Ginzburg方程式、赤血球形状に関連した方程式、また石鹸膜運動方程式の解析に関しての講演があり、活発な議論が行われた。北大以外からも20名を超える参加者が加わり、コンビナーの予想以上に盛況であった。(出席者総数41名、うち外国人出席者数2名)



Müller教授による弾性体理論に関する講演（数学専攻講義室）

2) 物理学の新しい発展動向に関する国際シンポジウム(Part 2) The International Symposium on New Trends of Physics: Part2

（コンピナー：熊谷健一教授、平成15年3月17日～18日、理学研究科 物理学専攻講義室）

本シンポジウムは、物理学の広範囲な分野において研究者間の相互交流を深め、21世紀物理学の新潮流に関する研究討議をすることを目的とするものである。前期日程では、理学研究科とロシア科学アカデミーとウラル科学アカデミーとの間の学部間研究交流協定による交流活動の一環として企画され、海外招待者15名を含む約100名の参加を得ておこなわれた。後期日程の今回のシンポジウム（part 2）では、主として宇宙物理学と強相関電子凝縮系の物理学分野について集中的な研究討議をおこなった。海外7名、国内10名、学内11名の講演者が、強相関電子系および宇宙物理学分野における最先端の話題、量子臨界異常、スクッテルダイト系新奇物性、異方的超伝導、隠れた秩序、低次元・トポロジー物性異常に加えて星間の物質生成・循環等の宇宙物理について講演し、議論した。（出席者総数28名、うち外国人出席者数7名）



物理学の新しい発展動向に関する国際シンポジウム(Part 2)（物理学専攻講義室）

3) 北海道大学ールイ・パスツール大学間学術交流協定締結記念第1回シンポジウム「国際研究交流は大学の研究を活性化する」 1st Memorial Symposium of Academic Exchange Agreement between Université Louis Pasteur and Hokkaido University: "International Academic Exchange accelerates Research Activities in Universities"

（コンピナー：馬渡駿介教授、平成15年3月19日～20日、北海道大学 総合博物館）講義室）

ルイ・パスツール大学は2000年10月に北海道大学が学术交流協定を締結したストラスブール大学連合の構成員である。これまで北海道大学理学研究科は、ルイ・パスツール大学付属動物学博物館における日本産海産動物標本調査を通じて交流を行ってきた。今回は両大学の学术交流協定締結を記念した第1回目のシンポジウムを開催した。第1日目はこれまでの交流の例として、上記博物館での調査結果の発表に加えて我が北大総合博物館の来歴とそれがこれから担う生物多様性研究が紹介された。ルイ・パスツール大学では上記博物館を含む合計5つの博物館を統合した「新科学博物館」設立構想が進行中で、その紹介と共に北大総合博物館との提携希望が語られた。2日目は、さらなる学术交流の促進を目的に、地理政治学、生物学、地球科学の各分野で両大学の研究者がそれぞれの研究について語った。参加者はさまざまな学問分野の話題を一度に聴けるまたとない機会を十分に楽しんだ。講演終了後のパーティーでは、あまり時間をおかずに第2回の記念シンポを開催することで参加者全員の意見が一致した。(出席者総数43名、うち外国人出席者数9名)



藤田副学長による開会の挨拶
(総合博物館「知の交流コーナー」)

4) 北海道大学—ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム Joint Symposium on Fundamental Sciences between Hokkaido University and Budapest University of Technology and Economics

(コンビナー：龔劍萍助教授、平成15年3月17日～18日、エンレイソウ 第1 会議室)

ハンガリー工科経済大学は過去に数多くの優れた研究者やノーベル賞受賞者が生まれている名門大学である。北海道大学理学研究科とハンガリー工科経済大学では大学間学术交流協定が結ばれており、研究者の相互訪問や大学院生の相互派遣を通じて交流が続けられている。今回のシンポジウムでは6名の研究者を招聘し、3月17日、18日の2日間にわたり、幅広く基礎科学研究や教育に関する交流を行った。数学、物理、生命科学の第一線で活躍している研究者が、北海道大学から6名、ブタペスト工科経済大学から6名、東北大学から1名ずつ参加し、各分野での最新の研究成果について講演を行いました。会期中、研究者同士で活発な意見交換がなされ、共同研究の提案もありました。シンポジウムは盛況のうち、新しい研究の芽を生みつつ終了しました。(出席者総数39名、うち外国人出席者数6名)



本学とブタペスト工科経済大学の招待講演者
(ファカルティハウス「エンレイソウ」)

5) 東アジアと北西太平洋における海陸リンケージ Land-Ocean linkage in East Asia-NW Pacific (コンビナー：岡田尚武教授、平成15年3月17日～19日、北海道大学 学術交流会館)

日本と米国が主体となって今年10月から始めるIODP(統合国際深海掘削計画)の主要研究分野の一つは古海洋学である。日本での古海洋研究はまだ歴史が浅く、研究者層も欧米と比べて薄いが、東アジア諸国の研究者と連携を取ることにより、欧米に対抗できる質と量の科学的提案ができる。そこで、東アジアに共通する研究テーマで国際的にも関心の高い、アジアモンスーン発達史に関する研究の現状を総括し、具体的な掘削提案を作成するためのシンポジウムとワークショップを開催した。東アジアと北西太平洋地域における地球環境変遷に関する最近の研究成果が丸2日間にわたって発表された。3日目には、共有された研究成果を踏まえてワークショップを開催し、3つのグループに分かれて具体的な研究提案作成の段取りを話し合った。この結果、日本、ロシア、中国、韓国、台湾の研究者の共同作業として、ベーリング海とオホーツク海での新たなIODP研究計画作成プランを具体化し、日本近海と東シナ海においては、IODPへの研究提案作成の前段階としてのIMAGESの研究計画を共同で作成する段取りをつけることが出来た。(出席者総数66名、うち外国人出席者数12名)

アジアモンスーンの発達：ポスターセッション風景
(学術交流会館)



あとがき

3月18日午後6時より、ファカルティハウス「エンレイソウ」のレストラン「エルム」において同時に開催された5つの国際シンポジウムの合同懇親会が行われました。懇親会には中村総長が駆けつけてくださり、ご挨拶をいただきました。宴に先立ち見事な琴の演奏が披露されました。日本情緒が漂う中、山口評議員による乾杯の音頭によって第1回国際HU-GSSシンポジウムの懇親会が和やかに始まり、「国際的な異分野交流も実現できたようだ。」とは、今回のシンポジウム世話人の声。懇親会出席者総数87名(うち外国人招待者数28名)。

第1回国際HU-GSSシンポジウムでは、コンビナーの努力はもちろんのこと、シンポジウム世話人(いずれもシンポジウムでの発表者)による以下の共同作業が不可欠でした。広報担当：鈴木(徳)教授(地球惑星科学専攻)、講演要旨集担当：熊谷教授(物理学専攻)、懇親会担当：利根川助教授(数学専攻)、ポスター担当：沢田講師(地球惑星科学専攻)、調整担当：藤田庶務掛長。



理学研究科国際シンポジウムの合同懇親会(レストラン「エルム」)

「物理学の発展動向に関する」国際シンポジウムを開催

総長経費（国際会議開催経費）等の支援のもと、標記国際シンポジウムが学术交流会館等において2003年1月20日から23日までの4日間にわたって開催されました。大学院理学研究科（物理学専攻）はロシア科学アカデミー・ウラル研究所（2000年）および、ウクライナ科学アカデミー・ボゴリュウボフ理論研究所（2001年）との間に学部間学術協定を結び、その後も研究協力を推進しています。標記国際シンポジウムは、近年進展の著しい物性物理学、核物理学、素粒子物理学等における研究動向について理解を深めるとともに、両機関との一層の協力関係を進めるため研究発表・討議をおこなうものとして企画されました。

国際シンポジウムには、ロシア、ウクライナを含め米国、インド、ベルギーなどの海外からの招待者10名と国内招待者17名を含め述べ人数およそ100名の参加者を得て、広い視野からの先端的研究に関する最新の研究動向に関して意見交換を行いました。4日間とも午前・午後に招待講演、一般講演セッションをもち、酸化物高温超伝導体や強相関電子系の新奇超伝導体、重い電子系、ナノ分子磁性体などの新規磁性体、量子ホール効果、量子ドット、金属-絶縁体転移、新しいフォノン物理学など凝縮系物質科学、素粒子論、および多様な核物理学に関する発展動向について熱心な研究討議がおこなわれました。先端的研究成果の発表と研究討議を通しての国際的交流は、学際的研究の動向に関しての理解を深めるとともに、若手研究者には良い刺激となりました。

なお、初日には北大総合博物館においてレセプションをもちました。伝統ある歴史が醸し出す素晴らしい雰囲気の中で、北大の沿革や地理的環境の話題が盛り上がり参加者には好評でありました。2日目にはエンレイソウでシンポジウムバンケットによる交流をもち、また、3日目午後には、国内外からのシンポジウム参加者に加えて、学部2年生・3年生に対する物理学専攻の各研究室紹介を兼ねた研究ポスター発表を企画しました。院生による物理学専攻における研究アクティビティの英語による発表・紹介は彼らの国際性の涵養に繋がり、また若い学生にとっては国際性を意識した研究室の活動を理解する良い機会となりました。

体験学習**「ポストゲノム科学－遺伝子解析からたんぱく質構造決定まで－」が実施される**

理学研究科生物科学専攻（田中勲教授）において、子どもゆめ基金（独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センター）の助成金の交付を受け、平成15年1月5日から7日まで体験学習「ポストゲノム - 遺伝子解析からたんぱく質構造決定まで - 」と題し、ポストゲノム科学という最先端の分野を、将来の日本の科学を担う高校生を対象に、体験学習という形で紹介しました。

◆ 北海道大学大学院理学研究科業務功労者表彰を実施

本研究科生物科学専攻事務室の加藤幸子事務主任の退職に伴い、3月31日(月)研究科長室において、北海道大学大学院理学研究科業務功労者表彰が実施され、研究科長から表彰状および記念品が手渡されました。

この表彰は、本研究科において教育研究の補助的業務に従事する、職員のうち、人目につかない領域にあって労苦の割に報われることが少ない在職20年以上の職員に対して実施されているものです。



写真右から長田研究科長、加藤事務主任、佐々木事務長

◆ 外国の研究機関との共同研究

理学研究科生物科学専攻（高分子機能学）助教授 門 出 健 次

（ 1 ）共同研究名

Synthesis, structure, and biological activity of indole phytoalexins and their analogs.
インドール系ファイトアレキシン及びその誘導体の合成・構造・生理活性

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名
Assoc. Prof. Dr. Peter Kutschy,
Department of Organic Chemistry Faculty of Natural Sciences
P.J. Šafárik University Slovak Republic

（ 2 ）共同研究名

Structure-Based Approach for Discovery of Small Molecule Bcl-2 Inhibitors.
構造情報に基づいた抗腫瘍性Bcl - 2 阻害低分子の開発

共同研究を行った研究機関・研究者職・氏名
York Tomita Assistant Professor
Georgetown University Medical Center, Washington DC, USA

◆ 海外からの来訪者

期間：平成15年1月1日～3月31日

受入れ専攻等名>> [数学専攻](#) | [物理学専攻](#) | [化学専攻](#) | [生物科学専攻](#) | [地球惑星科学専攻](#) | [物理学専攻追加](#)

(受入れ専攻等名：数学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.1.12～1.19	中国・香港科技大学・教授・Jing-Song Huang	Dirac operators in representation theory
15.1.14～1.16	イタリア・Univ. of Sanderland, Business School・助教授・Antonino Rffhone	「思考・推論の神経相関に関する理論的研究」に関する研究打ち合わせ
15.1.14～1.16	イタリア・サンダーランド大学・教授・Cees van Leeuwen	「思考・推論の神経相関に関する理論的研究」に関する研究打ち合わせ
15.1.29～2.3	韓国・Advanced Institute of Sci. and Technology・教授・Hong On Kim	復素解析
15.2.6～2.15	中国・浙江大学・教授・Jian Zhai	「ディラック粒子と量子電磁場の相互作用系の数学的解析」に関する研究打ち合わせ
15.2.12～2.17	台湾・台湾国立大学・助教授・王 振 男	「応用逆問題の研究動向の調査と研究体制の整備」に関する研究打合せ
15.2.17～2.21	フィンランド・(群馬大学JSOS研究員) C.Eyral・Samuli Siltanen	Modelling and simulation of Electronic Impedance Tomography
15.2.17～2.21	オランダ・アムステルダム大学・教授・Arjen Doelman	NSC Winter Seminar 2003 出席： Destabilization of fronts in a class of bistable systems
15.2.17～2.21	アメリカ・ジョージア工科大学・教授・Konstantin Mischaikow	NSC Winter Seminar 2003 出席： Computational topology and the analysis of geometric data sets
15.2.21～2.22	ドイツ・東京都立大学(学振)・B.Audoubert Tu Nguyen	Seminar on Topology of Algebraic Varieties : Introduction to Zariski- Lefschetz theory for singular varieties : Singularities of morphisms and desingularization : Quotient spaces of cubic surfaces and plane sextics
15.3.16～3.21	ドイツ・マックスプランク研究所・教授・Mueller Stefan	シンポ「変分問題，幾何測度論とその周辺」に出席：Geometric rigidity, curvature functionals and dimension reduction in nonlinear elasticity
15.3.15～3.21	アメリカ・スタンフォード大学・教授・White Brian	シンポ「変分問題，幾何測度論とその周辺」に出席
15.3.16～3.19	ドイツ・(東京)・助教授・Georg Weiss	シンポ「変分問題，幾何測度論とその周辺」に出席

(受入れ専攻等名：物理学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.1.16 ~ 1.26	ロシア・ロシア科学アカデミーウラル 研究所・研究所長・Vladmir.V.Ustinov	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.16 ~ 1.26	ロシア・ロシア科学アカデミーウラル 研究所・上級研究員・Stanisla Verkhovskii	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.16 ~ 1.26	ロシア・ロシア科学アカデミーウラル 研究所・主任研究員・Konstantin N.Mikhalev	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.16 ~ 1.26	ロシア・ロシア科学アカデミーウラル研究所・主任研究員・Tatiana P.Krinitcina	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.18 ~ 1.25	ウクライナ・アントワーペン大学・教授・Victor Vasilevsky	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.18 ~ 2.19	ウクライナ・ウクライナ科学アカデミーボゴリューボフ理論研究所・主任研究員・Sergei Kruchnin	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表、高温超伝導に関する研究討議
15.1.19 ~ 2.20	ウクライナ・ウクライナ科学アカデミーボゴリューボフ理論研究所・上級研究員・Alexander P.Kobushkin	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表、核物理に関する研究討議
15.1.19 ~ 1.24	ベトナム・バージニア大学・教授・Pradip Kumar hung	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.19 ~ 1.24	ウクライナ・カザン大学（金沢大学客員教授）Taloursiki Dmitri	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.20 ~ 2.10	インド・インド物理学研究所・教授・Pradip kumar Sahu	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.1.20 ~ 2.20	ウクライナ・ウクライナ科学アカデミーボゴリューボフ理論研究所・上級研究員・Gennedy F.Filippov	物理専攻主催国際シンポジウム「International Symposium on New Trends of Physics」での発表
15.3.12 ~ 3.13	ロシア・ロシア科学アカデミー・Leading Reseach Fellow・YURI Latyshev	「圧力下における低次元導体」に関する研究打合せ
15.3.13 ~ 3.20	アメリカ・コーネル大学・教授・Robert E.Thorne	理学研究科国際シンポジウム「Teh 1st International HU-GSS Symposium」での発表
15.3.14 ~ 3.19	オランダ・アムステルダム大学・助教授・Anne de Visser	理学研究科国際シンポジウム「Teh 1st International HU-GSS Symposium」での発表
15.3.14 ~ 3.20	イタリア・パルマ大学・助教授・Paolo Santini	理学研究科国際シンポジウム「Teh 1st International HU-GSS Symposium」での発表
15.3.16 ~ 3.19	韓国・Chungbuk国立大学・教授・Kyung-Won Suh	理学研究科国際シンポジウム「Teh 1st International HU-GSS Symposium」での発表

(受入れ専攻等名：化学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.1.30	ドイツ・フリッツハーバー研究所・研究員・M.S.Zei	表敬訪問
15.3.5	中国・中国科学院大連化学物理研究所・教授・辛 勤	表敬訪問
15.3.11	ドイツ・フリッツハーバー研究所・研究員・Alexander S. Mikhailov	表敬訪問

(受入れ専攻等名：生物科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.2.15～3.16	カナダ・カルガリー大学・教授・Ken Lukowiak	「連合学習に伴うキー・ニューロン(単一細胞)におけるmRNAレベルの変化」に関する共同研究
15.3.16～3.21	フランス・ルイ・パスツール大学・教授・Hugues DREYSSE	北海道大学 - ルイ・パスツール大学間学術交流協定締結記念第1回シンポジウム「国際研究交流は大学を活性化する」における講演
15.3.16～3.21	フランス・ゼンケンブルグ博物館・研究員・Joachim SCHOLZ	北海道大学 - ルイ・パスツール大学間学術交流協定締結記念第1回シンポジウム「国際研究交流は大学を活性化する」における講演
15.3.17～3.21	フランス・ルイ・パスツール大学・副学長・教授・Richard Kleinschmager	北海道大学 - ルイ・パスツール大学間学術交流協定締結記念第1回シンポジウム「国際研究交流は大学を活性化する」における講演
15.3.17～3.21	フランス・ルイ・パスツール大学・霊長類研究センター長・Nicolas Herrens Schmidt	北海道大学 - ルイ・パスツール大学間学術交流協定締結記念第1回シンポジウム「国際研究交流は大学を活性化する」における講演
15.3.18～3.23	フランス・ルイ・パスツール大学・名誉教授・Guy Ourisson	北海道大学 - ルイ・パスツール大学間学術交流協定締結記念第1回シンポジウム「国際研究交流は大学を活性化する」における講演
15.3.16～3.21	ハンガリー・ブタペスト工科経済大学・教授・Klara Toth	「北海道大学 - ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム」に出席講演
15.3.16～3.21	ハンガリー・ブタペスト工科経済大学・教授・Gabor Stepan	「北海道大学 - ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム」に出席講演
15.3.16～3.21	ハンガリー・ブタペスト工科経済大学・教授・Domokos Szasz	「北海道大学 - ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム」に出席講演
15.3.16～3.21	ハンガリー・ブタペスト工科経済大学・教授・Andras Recski	「北海道大学 - ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム」に出席講演
15.3.16～3.21	ハンガリー・ブタペスト工科経済大学・教授・Gyorgy Mihály	「北海道大学 - ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム」に出席講演
15.3.16～3.21	ハンガリー・ブタペスト工科経済大学・教授・Miklos Zrinyi	「北海道大学 - ブタペスト工科経済大学基礎科学に関する合同シンポジウム」に出席講演

(受入れ専攻等名：地球惑星科学専攻)

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
15.2.20～2.24	カナダ・カナダ気象局・主任研究官・David R. Hudak	降雪雲及び気象学に関する研究打合せ
15.3.1～3.4	アメリカ・カリフォルニア大学サンタクルーズ校・準教授・Justin Revenaugh	地震波散乱理論による微細不均質性のイメージング
15.3.3～3.5	カナダ・トロント大学・教授・Roland List	気象学及びIUGG国際会議の打合せ
15.3.14～3.18	カナダ・トロント大学・准教授・G.W.Kent Moore	気象学に関する研究打合せ

(受入れ専攻等名：物理学専攻)

前回(平成14年10月1日～12月31日)追加

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
14.12.17～12.19	チェコ・チェコ科学アカデミー・物理学研究所・研究員・P, リパブスキー	超伝導体の磁束状態に関する研究討議

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

◆ 学会賞等の受賞

北海道大学大学院理学研究科化学専攻 石坂昌司助手は、「時間分解全反射蛍光分光法による液/液界面の研究」により、平成15年2月5日、社団法人日本分析化学会北海道支部から、北海道分析化学奨励賞を受賞されました。

◆ 学位授与

平成15年3月25日学位授与者(56名)

- (課程博士)
- 青井 久(数学専攻)
Study on intermediate subalgebras between a von Neumann algebra and a cartan subalgebra
(主査：山ノ内毅彦助教授)
- 加藤 淳(数学専攻)
Weighted Strichartz estimates and existence of self-similar solutions for semilinear wave equations
(主査：小澤 徹教授)
- 澤田 宙広(数学専攻)
Existence and regularity of the Navier-Stokes flow with non-decaying or non-regular initial velocity
(主査：儀我 美一教授)
- 水川 裕司(数学専攻)
Applications of Group Characters to Special Functions
(主査：吉田 知行教授)
- 山上 敦士(数学専攻)
On Gouéa's conjecture in the unobstructed case
(主査：前田 芳孝助教授)
- 青山 尚広(物理学専攻)
Dynamical properties of anisotropic state in the quantum Hall system
(主査：石川 健三教授)
- 須田 拓馬(物理学専攻)
Evolution and Element Mixing in Low-Mass Stars
(主査：藤本 正行教授)
- 新田 高洋(物理学専攻)
Static Friction of Agar Gel/Glass System -Mesoscopic Dynamics of Frictional Interface-
(主査：川端 和重教授)
- 町田 正博(物理学専攻)
Binary Star Formation and Mass Outflow in the Molecular Cloud Cores
(主査：藤本 正行教授)
- 蓑口 あゆみ(物理学専攻)
Molecular dynamics of supercooled polyols by broadband dielectric measurements
(主査：小野寺 彰教授)

- 山田 邦雅(物理学専攻)
Unruh effect and proton decay
(主査：石川 健三教授)
- 横山 淳(物理学専攻)
Effects of Hydrostatic Pressure and Uniaxial Stress on Antiferromagnetic Moment in the Heavy Electron Compound URu₂Si₂
(主査：網塚 浩助教授)
- 吉尾 圭司(物理学専攻)
Study of Electronic Ferroelectricity in α -VI Semiconductor Zn_{1-x}Li_xO and *d-p* Hybridization
(主査：小野寺 彰教授)
- 渡部 鉄兵(物理学専攻)
Locality and Orthomodular Structure of Compound Systems
(主査：石垣 壽郎教授)
- 綿貫 丈雄(物理学専攻)
Phonon-Polariton Excitation by Impulsive Stimulated Raman Scattering and Its Application for the Study of THz Dynamics
(主査：八木 駿郎教授)
- 大貫 圭(化学専攻)
Asymmetric Total Synthesis of Ingenol
(主査：宮下 正昭教授)
- 金 世殷(化学専攻)
NIPP1によるpre-mRNAプロセッシングシステム制御機構
(主査：菊池九二三教授)
- 坂下 暁介(化学専攻)
特異的内因性阻害タンパクインヒビター 2 による 1 型セリン/スレオニホスタファーゼPP1の制御機構に関する研究
(主査：菊池九二三教授)
- 清水 忠(化学専攻)
Novel Method for the Construction of Carbocycles *via* Cycloaddition Reactions Using Dicobalt Acetylene Complexes
(主査：宮下 正昭教授)
- 平 靖之(化学専攻)
Studies on Magnetic Properties of Geometrically Frustrated Rare Earth Ternary Oxides with Pyrochlore-Type Structure
(主査：日夏 幸雄教授)
- 武島 嗣英(化学専攻)
Molecular Structures of Nicotine and Related Bioactive Compounds Determined by Gas Electron Diffraction
(主査：小中 重弘教授)
- 田中 秀輝(化学専攻)
Studies toward Total Synthesis of Ciguatoxin CTX1B
(主査：鈴木 孝紀教授)

趙 健 偉(化学専攻)

Nanofabrication and confined electron transfer through organic monolayers on solid substrates

(主査：魚崎 浩平教授)

中 富 晶 子(化学専攻)

ホタテガイ精巢特異的新規カルシニューリン結合蛋白質CaNBP75に関する研究

(主査：矢澤 道生教授)

パ リ ッ シ ュ エ ル デ ー ペ(化学専攻)

Study on Rational Design of Supported Metal Catalysts Using Supercritical Fluid, their Characterization and Catalysis

(主査：市川 勝教授)

福 川 千 香 子(化学専攻)

プロテインホスファターゼ2A阻害タンパク質 I - 1^{PP2A}および I - 2^{PP2A} の生理機能に関する研究

(主査：菊池 九二三教授)

福 崎 剛 広(化学専攻)

Synthetic Studies on Azadirachtin by Means of Chelate-Controlled Claisen Rearrangement

(主査：鈴木 孝紀教授)

藤 縄 祐(化学専攻)

ジアミノピレン - ハロゲン置換ベンゾキノ系電荷移動錯体の異常な導電挙動の起源に関する研究

(主査：稲辺 保教授)

水 野 章 敏(化学専攻)

Structure and Properties of Liquid Alkali-Mercury Alloys

(主査：武田 定教授)

大 槻 茂 男(生物科学専攻)

Molecular and Physiological Studies on Sugar Regulation in Rice

(主査：山口 淳二教授)

加 藤 亜 記(生物科学専攻)

A systematic study of the Peyssonneliaceae (Rhodophyta) in Japan

(主査：増田 道夫教授)

久 保 稔(生物科学専攻)

Theoretical study on the dynamics of ligand recognition and activation of the glutamate receptor

(主査：伊藤 悦朗助教授)

境 和 久(生物科学専攻)

Preferential Expression of Neutral Amino Acid Transporter ASCT1 in Glial Cells and Developing Capillaries of the Mouse Brain

(主査：小池 達郎教授)

畠 山 大(生物科学専攻)

Cellular and Molecular Biological Analyses of Neural Mechanism for Conditioned Taste Aversion in the Pond Snail *Lymnaea stagnalis*

(主査：伊藤 悦朗助教授)

山根 ゆか子(生物科学専攻)

Signal transmission mechanisms by neurons and glial cells in the cerebral cortices - *in vivo* and *in vitro* studies

(主査：伊藤 悦朗助教授)

吉川 伸 哉(生物科学専攻)

Chromatin condensation and histone proteins in the gametes of some brown algae

(主査：本村 泰三教授)

渡 邊 誠 也(生物科学専攻)

Analyses of the Function, Gene Expression and Structure of the Cold-Adapted Enzymes from Psychrophilic Bacteria

(主査：山口 淳二教授)

大川 香 織(生物科学専攻)

Complex formation by cascade reaction of zwitterionic polymer-polyelectrolytes

(主査：長田 義仁教授)

尾 瀬 農 之(生物科学専攻)

Carbon-carbon bond formation and degradation by biocatalysts: structural and mechanistic studies of specific enzymes by X-ray crystallography

(主査：田中 勲教授)

加々田 剛(生物科学専攻)

Effect of Surface Interaction on Friction of Gels

(主査：長田 義仁教授)

角 五 彰(生物科学専攻)

Bio-Gel Machines Constructed from Muscle Proteins

(主査：長田 義仁教授)

久米田 博 之(生物科学専攻)

Low-temperature-Induced Changes in Human Lysozyme Elucidated by Multi-Dimensional NMR Spectroscopy

(主査：新田 勝利教授)

坂 井 直 樹(生物科学専攻)

A pilot study of the structural genomics of *Pyrococcus horikoshii*

(主査：田中 勲教授)

夏 祖 勇(生物科学専攻)

A New Enzymatic Polymerization of Natural Phenol Derivatives

(主査：西村紳一郎教授)

高 橋 真(生物科学専攻)

Characterization of modified solid surfaces by electrochemical method and grazing incidence X-ray techniques in a laboratory scale

(主査：中田 允夫教授)

日 比 慎(生物科学専攻)

Identification and analysis of genes related to myosin - independent and adhesion-dependent cytokinesis in *Dictyostelium discoideum*

(主査：田中 勲教授)

川上 源太郎(地球惑星科学専攻)

Sedimentological Analysis of the Miocene Peripheral Foredeep Basin-fill,
Central Hokkaido, Japan-Implication for the Tectonic Evolution of the Hidaka Mountains-

(主査：岡田 尚武教授)

工藤 崇(地球惑星科学専攻)

Petrological study of Kita-Hakkoda volcanic Group and Towada volcano,
Northeast Japan arc : Evolution and mantle diapir model for caldera volcanoes

(主査：宇井 忠英教授)

鈴木 大輔(地球惑星科学専攻)

Recent Reptilian Bone-Tendon Interface : Applicability to Fossil Skeletons.

(主査：岡田 尚武教授)

坂本 天(地球惑星科学専攻)

A theoretical and numerical study on baroclinic responses caused by barotropic Rossby waves incident to a ridge.

(主査：見延 庄士郎助教授)

前坂 剛(地球惑星科学専攻)

Study on the Formation Process of Precipitation Systems in the Meiyu Front on
the China Continent .

(主査：林 祥介教授)

横畠 徳太(地球惑星科学専攻)

Role of CO₂ Condensation in the Surface Environmental Evolution
on Mars

(主査：渡部重十教授)

(論文博士)

高橋 淳一(物理学専攻)

Optical Response from Transition Metal Oxides

(主査：中原純一郎教授)

ラシュコ ユリヤ(物理学専攻)

Photodisintegration of the Light Neutron-Rich Nuclei

(主査：加藤 幾芳教授)

八幡 正弘(地球惑星科学専攻)

北海道における後期新生代の熱水活動とその時空変遷

(主査：松枝 大治教授)

光畑 裕司(地球惑星科学専攻)

Two and a Half-dimensional Modeling and Inversion of Controlled-Source
Electromagnetic Exploration Data

(主査：西田 泰典教授)

◆ 新任教官紹介

さかくち かずやす
坂口 和靖 (化学専攻生命分子化学講座教授)

(平成15年4月1日昇任)



最終学歴：平成元年3月九州大学大学院理学研究科化学専攻博士課程修了、学位：理学博士、略歴：平成元年4月米国国立衛生研究所国立がん研究所博士研究員、平成4年4月同研究所客員研究員、平成11年1月同研究所主任研究員、平成11年4月九州大学大学院理学研究科分子化学専攻助教授、平成12年4月九州大学大学院理学研究科化学部門助教授、専門分野：生物化学、ペプチド化学

おいかわ ひであき
及川 英秋 (化学専攻分子変換化学講座教授)

(平成15年4月1日昇任)



最終学歴：昭和59年3月北海道大学大学院農学研究科博士課程修了、学位：農学博士、略歴：昭和59年4月米国ブラウン大学化学科博士研究員、昭和60年4月理化学研究所抗生物質研究室博士研究員、昭和61年4月北海道大学農学部農芸化学科助手、平成11年4月北海道大学大学院農学研究科応用生命科学専攻助教授、専門分野：天然物化学、生物有機化学、生合成化学

やまもと こうたろう
山 本 興太郎

(生物科学専攻形態機能学講座教授)

(平成15年4月1日配置換)



最終学歴：昭和55年3月東京大学大学院理学系研究科植物学専攻博士課程修了、学位：理学博士、略歴：昭和52年9月米国スミソニアン研究所研究員、昭和55年3月岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所助手、平成3年4月北海道大学理学部生物科学科助教授、平成5年4月北海道大学大学院地球環境科学研究科生態環境科学専攻助教授、平成8年4月同研究科教授、：植物生理学

つだ さかえ
津 田 栄

(生物科学専攻基礎産業生物科学講座(連携分)教授)

(平成15年4月1日併任)



最終学歴：昭和62年3月北海道大学大学院理学研究科修士課程修了、学位：理学博士、略歴：昭和63年3月北海道大学理学部高分解能NMR研究室教務職員、平成5年1月カナダ・アルバータ大学博士研究員、平成7年4月工業技術院北海道工業技術研究所主任研究員、平成13年4月(独)産業技術総合研究所グループ長、平成14年9月同研究所生物機能工学研究部門蛋白質構造研究グループ長、専門分野：生物物理学、構造生物学

おおぎや さとる
扇 谷 悟

(生物科学専攻基礎産業生物科学講座(連携分)教授)

(平成15年4月1日併任)



最終学歴：昭和61年3月北海道大学大学院薬学研究科修士課程修了、学位：薬学博士、略歴：昭和61年4月工業技術院北海道工業開発試験所研究員、平成10年9月～平成11年12月スウェーデン・ストックホルム大学博士、平成13年4月(独)産業技術総合研究所研究グループ長、平成14年9月同研究所生物機能工学研究部門分子環境適応研究グループ長、専門分野：分子生物学、発現工学、ゲノム情報科学

さかじょう たかし
坂上 貴之

(数学専攻空間構造学講座助教授)

(平成15年4月1日昇任)



最終学歴：平成10年5月京都大学大学院理学研究科数学・数理解析専攻博士後期課程中退、学位：理学博士、略歴：平成10年5月名古屋大学大学院多元数理科学研究科助手、専門分野：数理解析

ほしの たもつ
星野 保

(生物科学専攻基礎産業生物科学講座(連携分)助教授)

(平成15年4月1日併任)



最終学歴：平成4年3月名古屋大学大学院農学研究科博士後期課程満期退学、学位：博士(農学)、略歴：平成4年4月新技術事業団研究員、平成5年10月農林水産省北海道農業試験場非常勤職員、平成6年4月工業技術院北海道工業技術研究所研究員、平成8年10月同所主任研究官、平成13年4月(独)産業技術総合研究所主任研究員、平成14年9月同研究所生物機能工学研究部門遺伝子資源解析研究グループ主任研究員、専門分野：生物化学、微生物生態学

たにおか ゆういちろう
谷 岡 勇市郎

(附属地震火山研究観測センター地震観測研究部助教授)

(平成 1 5 年 4 月 1 日 転任)



最終学歴：平成 8 年 5 月 Michigan University 地球科学科大学院博士課程修了、学位：PhD、略歴：平成 8 年 6 月 Michigan University 地球科学科研究員、平成 8 年 1 0 月 気象庁 気象研究所 地震火山研究部 研究官、平成 1 2 年 4 月 気象庁 気象研究所 地震火山研究部 主任研究官、専門分野：地震学

なかとみ あきこ
中 富 晶 子

(化学専攻生命分子化学講座助手)

(平成 1 5 年 4 月 1 日 採用)



最終学歴：平成 1 5 年 3 月 北海道大学 大学院理学研究科 化学専攻 博士課程修了、学位：博士 (理学)、専門分野：生化学、分子生物学

かじはら ひろし
柁 原 宏

(生物科学専攻系統進化学講座助手)

(平成 1 5 年 4 月 1 日 採用)



最終学歴：平成13年3月北海道大学大学院理学研究科生物科学専攻博士課程修了、学位：博士（理学）、略歴：平成13年4月札幌科学技術専門学校非常勤講師、平成13年10月北海道大学理学部非常勤講師、平成14年1月科学技術振興事業団科学技術特別研究員、平成14年4月日本学術振興会科学技術特別研究員、専門分野：動物分類学

なかがわ ふみこ
中川 書子

（地球惑星科学専攻地球惑星物質圏科学講座助手）

（平成15年4月1日採用）



最終学歴：平成13年3月東京工業大学大学院総理工学研究科環境理工学創造専攻、学位：博士（理学）、略歴：平成13年4月科学技術振興事業団研究員、平成14年4月日本学術振興会特別研究員（PD）、専門分野：同位体地球化学、環境化学

でぐち きさぶろう
出口 喜三郎

（生物科学専攻糖鎖精密化学講座寄附講座教員（客員助教授））

（平成15年4月1日採用）



最終学歴：昭和51年3月東北大学大学院理学研究科化学第2専攻博士課程修了、学位：理学博士、略歴：昭和51年10月南カリフォルニア大学博士研究員、昭和55年4月日本学術振興会奨励研究員、昭和59年3月(株)日立計測エンジニアリング、平成10年10月(株)日立サイエンスシステムズ、専門分野：機器分析（LC、LC-MS）

なかがわ ひろあき
中 川 裕 章

(生物科学専攻糖鎖精密化学講座寄附講座教員(客員助教授))

(平成15年4月1日採用)



最終学歴：昭和62年3月名古屋市立大学大学院薬学研究科修士課程修了、学位：薬学博士、略歴：昭和62年4月中埜酢店中央研究所研究員、平成10年3月ラ・ホヤがん研究所博士研究員、平成12年4月(財)バイオインダストリー協会研究員、専門分野：糖鎖解析

◆ 訃報

名誉教授 外岡 慶之助（享年92歳）

名誉教授（元理学部教授）外岡慶之助氏は、病氣療養中のところ平成15年3月18日（火）午前9時24分、ご逝去されました。
ここに謹んで哀悼の意を表します。

◆ 人事異動

平成15年3月1日付け発令
(昇任)

附属地震火山研究観測センター(火山活動研究分野)助教授

橋本 武志

京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設助手から

平成15年3月16日付け発令
(昇任)

物理学専攻電子物性物理学講座助教授

野 寄 龍 介

物理学専攻凝縮系物理学講座講師から

平成15年3月28日付け発令
(任期満了)

物理学専攻事務室事務補佐員

金 澤 里 子

化学専攻事務室事務補佐員

中川原 希 縫

極低温液化センター技能補佐員

谷 村 愛 子

極低温液化センター技能補佐員

尾 上 宏 治

平成15年3月31日付け発令
(定年退職)

化学専攻分子構造化学講座教授

小 中 重 弘

化学専攻生命分子化学講座教授

谷 口 和 彌

化学専攻分子変換化学講座教授

辻 孝

化学専攻教授

杉 本 和 則

数学専攻助教授

勝 股 脩

地球惑星科学専攻地球惑星物質圏科学講座助手

土 屋 篁

(辞職)

物理学専攻凝縮系物理学講座助教授

持 田 潔

化学専攻分子構造化学講座助手

関 谷 雅 弘

生物科学専攻事務室主任

加 藤 幸 子

(任期満了)

庶務掛事務官

川村 洋城

物理学専攻事務室事務補助員

長谷川 容子

物理学専攻事務室事務補助員

柳 優子

生物科学専攻事務室事務補助員

長尾 真紀子

地球惑星科学専攻事務室事務補助員

大西 裕子

平成15年4月1日付け発令

(転出)

数学専攻空間構造学講座助教授

清原 一吉

岡山大学理学部教授へ

化学専攻機能分子化学講座助手

石原 淳

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科助教授へ

化学専攻分子変換化学講座助手

古月 文志

大学院地球環境科学研究科助教授へ

事務長補佐

池田 満

水産科学研究科・水産学部事務長へ

会計掛長

佐々木 史生

経理部第一契約課専門員へ

専門職員(人事担当)

浅野 賢二

総務部総務課秘書掛長へ

専門職員(外部資金等担当)

北口 修一

医療技術短期大学部会計掛長へ

図書掛長

川端 美明

医学研究科・医学部図書閲覧掛長へ

総合博物館事務掛長

田川 諭

経理部第一契約課専門職員(第二契約担当)へ

教務掛主任

齋藤 嘉光

工学研究科・工学部教務課教務掛主任へ

化学専攻事務室主任 樋口清子

工学研究科・工学部総務課材料化学系専攻事務室主任へ

会計掛 対馬樹里

医学部附属病院医事課付へ

図書掛 平野知

医学研究科・医学部図書整理掛へ

図書掛 坂崎春子

弘前大学附属図書館情報サービス課参考調査係へ

(併任解除)

理学部教授

大学院地球環境科学研究科教授

大場忠道

理学部教授

大学院地球環境科学研究科教授

久保川厚

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

嶋津克明

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

山本正伸

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

谷本陽一

理学部助手

大学院地球環境科学研究科助手

吉永祐介

(転入)

化学専攻生命分子化学講座教授

坂口和靖

九州大学大学院理学研究院助教授から

化学専攻分子変換化学講座教授

及川英秋

大学院農学研究科助教授から

生物科学専攻形態機能学専攻教授 大学院地球環境科学研究科教授から	山本 興太郎
数学専攻空間構造学講座助教授 名古屋大学大学院多元数理科学研究科助手から	坂上 貴之
附属地震火山研究観測センター（地震観測研究分野）助教授 気象庁気象研究所地震火山研究部主任研究官から	谷岡 勇市郎
事務長補佐 経理部経理課課長補佐から	南山 勝美
専門職員（人事担当） 室蘭工業大学総務課人事係長から	佐藤 浩司
会計掛長 経理部第一契約課専門職員（第六契約担当）から	小島 武雄
専門職員（外部資金等担当） 学務部厚生課専門職員（授業料免除担当）から	梅原 正義
図書掛長 附属図書館情報サービス課資料サービス掛長から	山田 勉
総合博物館事務掛長 経理部第一契約課専門職員（第八契約担当）から	三好 晴子
庶務掛主任 大学院地球環境科学研究科総務掛主任から	原田 由美
教務掛事務官 総務部国際交流課国際企画掛から	内田 めぐみ
図書掛事務官 附属図書館情報システム課システム管理掛から	糸林 真優子
生物科学専攻事務室事務官 遺伝子病制御研究所病態研究部門から	山本 祐巳

(昇任)

生物科学専攻事務室主任

神野 さおり

生物科学専攻事務室から

技術専門官

宮島 信彦

技術専門職員から

技術専門職員

熊木 康裕

技術職員から

技術専門職員

一柳 昌義

技術職員から

(採用)

化学専攻生命分子化学講座助手

中富 晶子

生物科学専攻系統進化学講座助手

柁原 宏

地球惑星科学専攻地球惑星物質圏科学講座助手

中川 書子

生物科学専攻糖鎖精密化学講座寄附講座教員(客員助教授)

出口 喜三郎

生物科学専攻糖鎖精密化学講座寄附講座教員(客員助教授)

中川 裕章

会計掛事務官

佐藤 多恵

図書掛事務官

神谷 実

会計掛事務補佐員

土屋 妙子

図書掛事務補佐員

齋藤 洵子

数学専攻事務室事務補佐員

金子 ひろ子

数学専攻事務室事務補佐員

阿部 綾子

物理学専攻事務室事務補佐員

宮谷 千津子

物理学専攻事務室事務補佐員

柳 優子

化学専攻事務室事務補佐員

百瀬 雪絵

地球惑星科学専攻第二事務室事務補佐員

廣中 はるか

極低温液化センター技能補佐員

伊東 竟

生物科学専攻技術補佐員

大沼 愛子

生物科学専攻技術補佐員

山本 宏子

生物科学専攻技術補佐員

工藤 淑永

生物科学専攻教務補佐員

塩満 栄司

生物科学専攻教務補佐員

定本 久世

数学専攻科学研究支援員

田所 智

化学専攻科学研究支援員

畠山 美奈子

化学専攻科学研究支援員	千葉真弘
化学専攻科学研究支援員	金泳浩
生物科学専攻科学研究支援員	武藤秀樹
生物科学専攻科学研究支援員	藤部貴宏
生物科学専攻科学研究支援員	角五彰
生物科学専攻科学研究支援員	Matthias Keller
附属地震火山研究観測センター科学研究支援員	杉原孝充
生物科学専攻科学技術振興研究員	中島崇
生物科学専攻科学技術振興研究員	坂口圭史
生物科学専攻産学官連携研究員	中村一郎
生物科学専攻産学官連携研究員	伊藤啓
生物科学専攻産学官連携研究員	坂井直樹
COE研究推進室COE研究員	内海司
生物科学専攻COE研究員	尾瀬農之
生物科学専攻COE研究員	三浦信明
生物科学専攻COE研究員	馮飛
生物科学専攻事務補助員	菅原健一
地球惑星科学専攻第一事務室事務補助員	金山美保
物理学専攻事務室事務補助員	瀬野尾裕美
生物科学専攻技術補助員	畠山かな
生物科学専攻技術補助員	妹尾子都
生物科学専攻技術補助員	平野なぎ沙
生物科学専攻技術補助員	小野寺朋子
生物科学専攻技術補助員	志水奈津子
生物科学専攻技術補助員	原田宜子
生物科学専攻技術補助員	高野恵
生物科学専攻技術補助員	桑原里佳
生物科学専攻技術補助員	大西かおり
数学専攻科学研究支援員	山内和幸
生物科学専攻科学研究支援員	長谷川詠子
附属地震火山研究観測センター講師（研究機関研究員）	寺田暁彦

（併任）

数学科長
任期は平成16年3月31日まで

数学専攻数理解析学講座教授

新井朝雄

物理学科長
任期は平成16年3月31日まで

物理学専攻非線形物理学講座教授

加藤 幾 芳

化学科長
任期は平成16年3月31日まで

化学専攻機能分子化学講座教授

佐々木 陽 一

生物科学科長
任期は平成16年3月31日まで

生物科学専攻生体情報分子学講座教授

山下 正 兼

地球科学科長
任期は平成16年3月31日まで

地球惑星科学専攻地球惑星進化科学講座教授

鈴木 徳 行

生物科学専攻基礎産業生物科学講座教授
任期は平成16年3月31日まで

独立行政法人産業技術総合研究所生体物質設計研究グループ長

津 田 栄

生物科学専攻基礎産業生物科学講座教授
任期は平成16年3月31日まで

独立行政法人産業技術総合研究所分子環境適応研究グループ長

扇 谷 悟

生物科学専攻基礎産業生物科学講座助教授
任期は平成16年3月31日まで

独立行政法人産業技術総合研究所
遺伝子資源解析研究グループ主任研究員

星 野 保

化学専攻分子構造化学講座助教授
任期は平成15年9月30日まで

大阪大学大学院基礎工学研究科助教授

村 越 敬

理学部教授

大学院地球環境科学研究科教授

嶋 津 克 明

理学部教授

大学院地球環境科学研究科教授

長谷部 文 雄

理学部教授

大学院地球環境科学研究科教授

南 川 雅 男

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

古 月 文 志

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

沖 野 龍 文

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

長 尾 誠 也

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

廣 川 淳

理学部助教授

大学院地球環境科学研究科助教授

渡 部 雅 浩

理学部助教授

先端科学技術共同研究センター助教授

北 田 一 博

[<< Back to TOP](#)

[Next Page >>](#)

◆ 行事予定

月	日	曜	事 項
4	1	火	学位申請(4月付託)締切
	4	金	理学研究科入学式
	4	金	平成14年度学部専門科目(2・3年次学生)成績提出締切12:00
	7	月	新入生オリエンテーション及び理学部ガイダンス
	8	火	北海道大学入学式
	8	火	専攻長・学科長会議13:30
	10	木	全学教育科目第1学期授業開始
	10	木	研究科教授会13:30
	10	木	学部教授会 15:30
	16	水	理学研究科諮問委員会
	16	水	履修届受付(~17日(木))
	22	火	学位申請(5月付託)締切
	24	木	第3回北海道・東北地区国立大学理学部長会議
5	6	火	専攻長・学科長会議13:30
	8	木	研究科教授会13:30
	16	金	6月学位授与予定者の審査報告関係書類提出締切
	20	火	学位申請(6月付託)締切
	22	木	国立10大学理学部長会議(~23日)(名古屋)
	27	火	専攻長・学科長会議13:30
6	5	木	開学記念行事日
	5	木	大学祭(5日(木)・6日(金)休講)(~8日)
	5	木	研究科教授会13:30

	5	木	学部教授会 15:30
	9	月	大学院入試出願資格予備審査申請期間(～18日(水))
	17	火	学位申請(7月付託)締切
	24	火	専攻長・学科長会議13:30
	26	木	入学試験委員会10:00
	26	木	研究科教授会13:30
	30	30	学位記授与式
7	1	火	修士(博士前期)課程及び博士後期課程願書受付(～7日(月))
	23	水	全学教育科目補講期間(～25日(金))
	28	月	全学教育科目第1学期授業終了
	29	火	修士(博士前期)課程及び博士後期課程入試(～31日(木))
	29	火	全学教育科目第1学期定期試験(～8月8日(金))